

## 第8回日展

### 第4科（工芸美術） 特選授賞理由

題名

**水游舞**

授賞理由

作者は水中の金魚が水流の中で遊ぶ動きに生命の美しさを感じ表現のテーマにしています。伝統的な乾漆技法にて造形し、朱漆を塗り重ねた作品は金魚の動的なエネルギーを感じさせる優作です。

作者名

**井上絵美子**

題名

**乱流**

授賞理由

方丈記の「行く川の流れば絶えずしてまた元の水にあらず」とあるように、乱れ流れる水と人類が直面している混乱を重ね合わせ、平安な世界を希求した流麗でリズムミカルな鍛鉄作品は金工の優秀作です。

作者名

**小島泰明**

**創生の記憶**

授賞理由

木彫素地の上に漆を塗り重ねて磨きあげた表層に金箔や人工オパールを貼り重ねた本作は美しく存在しています。一粒の種から芽が出て育つ様は神秘的な生命力をかもし出すもので、エネルギーあふれる秀作です。

**織田定男**

**大地**

授賞理由

大地（地球）を全ての生命体・物質の母体と捉えている作者は、ガラスという透明感のある素材を駆使して、人間と、他の存在全てが地平にどの様に関わるかについて考察し造形した作品です。

**郡 和子**

**茜さす**

授賞理由

夏の日の夕暮れ時、海原を渡る風を幾重もの薄いたたら板で表現し、沈みゆく太陽の茜色の空を赤と黒のコントラストの化粧土を用いて表した。時のうつろいを感じさせる秀作と成って居ます。

**司辻健司**

**明日に繋ぐ**

授賞理由

思いも寄らない事態が起る現代、人間はみな自然への畏怖を感じると共に明日を信じ希望を持っています。そんな力を多種多様な赤でイメージし、自然の力を白い流れで表現した綴れ織の力強い作品です。

**西 緑**

**津軽・稔り輝く**

授賞理由

津軽こぎん刺しの制約を生かしつつ新たな表現の可能性と独自性を有した秀作です。岩木山の稜線は流れるようなラインで、山肌の土と木を感じさせる技術はすばらしく、下方の色彩が豊かな稔りを感じさせ、美しい。

**貴田洋子**

**Hymnal（讃美歌の）**

授賞理由

ロボットのよう進化の謎を SF 的な世界感でゴシック建築の教会の空気感を表現しています。技法は、鉄の板材を鍛金技法により造形して、酸化による錆付で表現しています。

**平野英史**

**大地のスーベニア**

授賞理由

母なる大地はさまざまな記憶を元に希望となるメッセージを人々に届けます。成形された金属地に焼成された有線七宝を布、金属、樹脂の他素材と構成することにより、魅力のある艶やかさが現出された作品である。

**菊池房江**

**青の symphony**

授賞理由

焼き物の素材感溢れる爽やかな作品に仕上がっています。ひねり造形でおおらかなフォルムを成形し、流動性のある三種の釉薬を用いて、滝の豊かな流動感を表現しています。

**山崎 豊**